

(様式3)

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

平成21年度 富山高等学校アクションプラン -1-		
重点項目	学習活動の充実	
重点課題	家庭学習時間の充実と授業改善	
現 状	4月と9月に実施している本校の「学習生活実態調査」によれば、家庭学習時間は1週間の平均で1、2年生が3時間余り、3年生が4時間前後である。生徒の家庭学習時間を充実させるためには、質の高い、また一方で理解しやすい授業展開に努める必要がある。	
達成目標	① 家庭学習時間の1週間の1日あたりの平均時間(継続)	② 授業についての満足感をもつ生徒の割合
	4時間程度	90%以上
方 策	1 家庭学習時間を保障する環境を整える。 2 教員の共通理解の下、面接などを通して、生活習慣の見直しや改善をはかるよう指導する。 3 意欲的に学習に取り組むことができるよう、課題の与え方に工夫をこらす。 4 本校の教育課程(7限授業など)について、研究をすすめる。	1 互見授業など様々な機会をとらえて教員の授業力向上に努める。 2 教員の作問能力を向上させるとともに、生徒の学習意欲を喚起するような指導法の研究に努める。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成21年度 富山高等学校アクションプラン -2-	
重点項目	学校生活の充実
重点課題	生徒に対する積極的な教育支援
現 状	昨年度取り組みにより、望ましいストレス対処を身に付けることのできた生徒の割合は54.2%となった。しかし、残る半数の生徒は、身につけたいという気持ちはあるものの実際には難しく、「疲れている」「頑張れない」と、自分を責めるというような対処しかとれずに悩んでいる様子が見えられた。本校生はさまざまな良い点を持っていながら、自己肯定感はやや低いと言える。
達成目標	自分のことや自分に起きた出来事に対し、受け取り方を変えてみることであった生徒の割合
	70%以上
方 策	1 ストレスや悩みを抱えている生徒に対し、生徒支援プログラム(講習会)の実施や教育支援だよりの発行などによって、それらに対処するための具体的、体系的なスキルをまず知識として与え、その後、実際に体験させる。今年度は、出来事の受け取り方を変えるスキルについて学習させる。 2 スキルを学習し、実際に体験したことによって、生徒にそれらを活用しようとする気持ちが起こり、実際に活用することができたかを調査する。 3 現在特別な葛藤がない生徒に対しても、開発・予防カウンセリング教育として実施する。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

(様式3)

平成21年度 富山高等学校アクションプラン - 3 -	
重点項目	進路支援の充実
重点課題	高い目標の実現に向け努力する生徒の育成
現 状	生徒の中には、自己の進路目標をただ漠然とした憧憬や感覚だけで決めている者がいる。自己の特性や成績などをしっかり考慮し判断していない面が見うけられる。そのため、志望も変わりやすく取り組みも不十分である。このような生徒に将来の目標を真剣に考えさせ、その実現に向け熱意をどう持たせるかが課題である。
達成目標	各自の進路目標達成に向けて努力した度合いを自己評価し、努力したと答えた生徒の割合 80%以上
方 策	1 キャリアガイダンスや進学講演会などを通して自己の目標設定やその達成のための取り組み方を提示する。 2 面接を通し、個々の悩みに的確なアドバイスを与えるなど、生徒の気持ちの切り替えや自立を促す。 3 学年末に3学年生徒に対してアンケートを実施し、今年一年の努力の度合いを(よく努力した・努力した・やや不足した・不足した)の4段階で自己評価し、達成目標の指標とする。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成21年度 富山高等学校アクションプラン - 4 -		
重点項目	特別活動の充実	
重点課題	ホームルーム活動への意欲的な取り組み	
現 状	ホームルーム活動は特別活動の重要な部分を占めているが、週1時間のホームルームの時間は学校行事や学年行事で使われることがあり、その残りを各クラスのホームルーム委員が中心となって計画的に実施している。しかし、その内容はレクリエーションが多い状況である。このホームルームの時間の活性化を図るためには、何が必要なのかを考え、対策を練ることが必要である。	
達成目標	① HR委員会の開催 前・後期に3回	② HRに対する評価 満足度 80%以上
方 策	学期に3回HR委員会を実施し、HR委員が自覚を持って行動し、また、他のクラスと情報交換ができる場を設定する。 1 HR計画の作成依頼 2 HR計画調整・連絡 3 学期の終わりに反省会・アンケート調査	1 HR計画の立案を担当、学年HR担当と打ち合わせを行って実行する。 2 計画実施前に、施設、準備の確認を行う 3 HR日誌の活用をはかる。 4 学期の終わりに、HR委員による評価(アンケート調査)を行う。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

(様式3)

平成21年度 富山高等学校アクションプラン -5-	
重点項目	信頼される学校づくり
重点課題	本校の教育活動の取り組みへの理解を深める
現 状	本校では、「公開授業」、「中学生保護者への学校説明会」、「むつみ会(PTA)委員会」、「学年保護者会」などを通して、本校の教育方針や進路指導・教科指導などの学校経営計画について説明を行っている。また、体育大会や文化活動発表会などの学校行事には保護者に足を運んでもらうよう呼びかけ、様子を見てもらっている。保護者の学校への要望を把握するとともに、今後さらに学校開放を進め、本校の教育活動への理解を深めていくことが必要である。
達成目標	本校の教育活動に対する保護者の満足度の割合 80%以上
方 策	1 今まで以上に保護者の来校を促し、本校の教育活動を知ってもらうために、ホームページの充実を図るなどPRに努める。 2 PTA活動の充実を図るよう努める。 3 12月の個別保護者会で「本校教育活動についてのアンケート」を実施し、保護者の満足度を調査し、今後の教育活動に活かす。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)